

令和元年度技術セミナー

「仕事に活かす遊具等の新技術」

■日時：2019年12月17日（火） 17:30～19:00

■会場：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 会議室

■主催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会

■講師：【講演1】スイコー株式会社 取締役営業本部長兼開発部長 小川高弘氏
開発部東部開発グループ 矢島由浩氏

【講演2】快工房株式会社 取締役開発営業部長 福寿崇氏、設計部課長 大内亮平氏

■参加者：20名

■内容

スイコー株式会社からは回転成形による制作の実践的な技術に関すること、快工房株式会社からは遊具のVRによる作図システムと防球ネットの最新技術を紹介いただいた。

【講演1】回転成形技術を利用した遊具・商品開発（スイコー株式会社）

- ・回転成形は樹脂成形技術の一種であり、金型を加熱・回転することで金型内面に樹脂パウダー原料を付着・堆積していく形成方法である。欧米では普及し数社が対応しているが、日本では当社が技術を取得している。
- ・利点は、大型中空一体成形ができ、多品種・小ロット生産や複雑な形状に対応可能。大量生産ができず、小型品の製造が苦手で、部分的な対応ができない欠点がある。
- ・帯電防止や多層成形、蓄光等の展開を検討中とのこと。



【講演2】遊具プレイデザイナーシステムの開発と防球ネットの新技術（快工房株式会社）

■遊具（プレイデザイナー[遊具作図ソフト]）の紹介

- ・プレイデザイナーは、遊具に特化したアプリであり、基準適合を確認しながら設計でき、予算管理等も可能。
- ・アイテムや配色の変更が瞬時にでき、パースや動画作成が可能。セミナーでは作図等のデモを動画で紹介。

- 防球ネットは打球のシミュレーションに応じた設計が可能。材質アルダイニーマと結節方法の紹介があった。



【意見交換・まとめ】

参加者による製造過程や特性に関する質問の受け答えがされた。会終了後、懇親会も開催した。

